

白岡ニュータウン自治会



自治会だより

2019
新春号

～世代超え 気持ち繋がる
ふるさとへ～



G-テラスより冬の富士



高岩天満宮 初詣

新春に寄せて

自治会会長 浅井 嘉一

新春おめでとうございます。

お陰様でニュータウン自治会は発足から31年目に入りました。5月には改元されて、気持ちも新たな新時代を迎えます。同時に今年には新会長を先頭に、役員共々新体制でスタートする年です。

昭和から平成に変わったとき自治会が誕生、デジタル化したCA TVはスカイツリーからの電波を受け、昨今では4Kや8Kという新しい波がご家庭に届いています。地域で最も早く生まれた自主防災組織は、18年後に独立しました。そして、県内では40番目の白岡市の誕生、人口は5万人を超えました。通信は今、固定電話から携帯・スマホに変わりつつあります。

リフレの杜には、小さなお子さん連れの新しいご家庭の入居もみ

られ、会員数も徐々に増加傾向にあつて、実に歓迎すべきときです。新築住宅もいよいよ終盤へ、街区では建て替えも目立ちます。ひとり暮らしや空き家への対応、いま新しい課題も見え隠れします。白岡ニュータウンの住み良い街と地域コミュニティづくりは不変で重要です。未来に向け、隣人仲良く、気持ちも新たに歩みを進めたいものです。





ふるさと祭りを終えて

自治会創立30周年記念

ふるさと祭りを終えて

事業部長 山田 健一

秋晴れの11月11日（日）、待ちに待った「ふるさと祭り」の日が訪れました。

午前中のオープニングセレモニーは、小島市長をはじめ各行政区長をお迎えして体育館で行われ、フラダンス、日本舞踊、悠友会の方々によるハーモニカ演奏、若木家元翁さんによる落語などを楽しんでいただきました。

校庭では、ミニ新幹線の乗車、JR 駅長の制服を着ての写真撮影、ふれあい動物コーナーでのひよこやモルモットとのふれあい、アルパカとの写真撮影、校庭の特設舞台での高岩お囃子連による太鼓演奏、よさこいソーランやヒップポップダンス、ギターやキ

ーボードの演奏とボーカル、また、活躍する小・中・高校生へのインタビューで未来を語っていただけ、ゲームコーナーやスタンプラリーなども展開しました。フリーマーケットでは周辺農家が用意した野菜などがアツという間に完売でした。なんとと言っても、駒形地区の皆さんのご指導により、班長さん手作りの焼きそば、フランクフルトの販売、それに悠友会の皆さんによる芋煮などが人気でした。お味はいかがでしたでしょうか？

子どもたちの姿が実に多く見受けられたのは、これからのニュータウンにとって頼もしい限りです。また、「スピードくじ」は今回初めての試みであり、自治会会員の五分の三の方々に参加していただきました。それぞれのコーナーには長い行列ができました。予想を上回る約千五百人の方にご来場いただきましたが、「ふるさと祭り」を堪能していただけたでしょうか？

未来への伝言「タイムカプセル」を用意したところ、85名の方がポストへ投函してくださいました。10年後に届くメッセージを楽しみにしてください。

ニュータウン自治会ができて30年、平成と共に歩んできた街です、白岡高校付近から開発が始まり、今では新白岡駅近くのリフレの杜に家並みが揃い、ようやく目的の街全体が完成しようとしています。しかし、ニュータウンだけでなく地域は成り立ちません、「ふるさと祭り」で地域の皆さんが協力し合い楽しいひと時を演出していただきました。これ

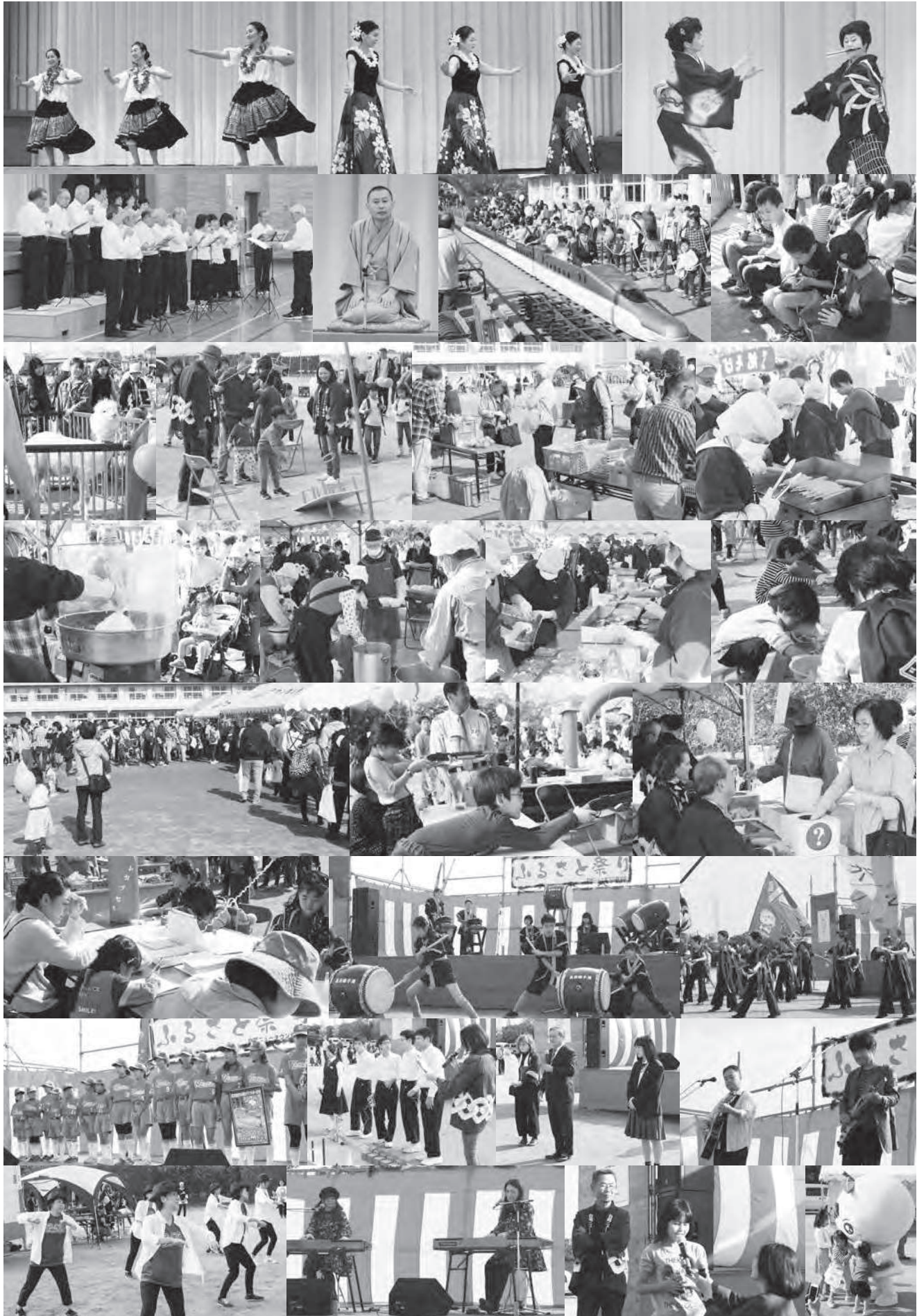
からはますます、皆様と共に支え合い協力しながら発展する街づくりを考える必要があるでしょう。

ご協力いただいた、高岩、駒形両地域やJRとJR O B 会、東武動物公園の皆さん、そして「ふるさと祭り」に多額のご寄付でご協力していただいた皆様、班長や役員、多くのボランティアのお陰で事故なく終了することができました。記念すべき節目に在職させていただき、私にとりまして大変光栄に感じております。ご協力本当にありがとうございます。





ふるさと祭り 写真集





趣味の作品展

12月8日(土) 9日(日)「趣味の作品展」をノースプラザで開催しました。出品数60点、ご観覧は120名で、ひと頃に比べ出品数、観覧者ともに激減です。絵画、写真、陶芸、押し花絵、連鶴、書道のどの作品も趣味とは思えない力作ばかり、ニュータウンには、素晴らしい腕の持ち主がたくさんいることに感動しました。

恒例の青空市に代わり、ご好評の「リングゴ販売」を8日、ノースプラザ横で行いました。仕入れの3分の1が売れ残り、翌日、リヤカーにて訪問販売、お陰様で完売しました。9日には「クリスマスリース作り」を行い、子どもたちが熱心に作り組んでいました。

出品された方々、各部の班

作品展とリングゴ販売

事業部副部長 田尾 豊



長さんには多大なご協力をいただきました、ありがとうございました。





歳末パトロール



りんご販売



クリスマスリース作り

年末28日（金）、29日（土）の両日、ニュータウン恒例の歳末警戒特別パトロールを実施しました。

初日の15時には久喜警察署から、年末の防犯と詐欺などについて注意をいただきました。その後、子供たちを含め総勢60名の参加者が5班に分かれ、1丁目から3丁目のパトロールをしました。

また、両日の夜（19時）それぞれ40名の方に参加いただき、木枯らしの吹く中「歳末パトロール実施中です！」の声で巡回しました。

年の瀬の多忙期のご協力にあらためてお礼申し上げます。

**歳末警戒特別
パトロール**
保安部副部長 岩崎明正





白岡ニュータウン開発秘話（第5回）

創立30周年関連企画

白岡ニュータウン開発秘話（第5回）

総合地所 所長 藤嶋 進さん

「リフレの杜誕生」

勤労者の心身の疲労回復等を目的として付与されるリフレッシュ休暇なるものがありました。それまで代休や有給を取るのも後ろめたい思いをしたものです。昨今は「何日休め」と：世は徐々に働き方改革へと進んでいるようです。2002年4月産声を上げた「リフレの杜」はリフレッシュを由来とする造語です。

リフレは東西軸街区で、駅から歩いてまず目にする街の顔になるエリアとなります。従来のように北付と南付で庭と車庫に挟まれる街並みに、重厚なレンガ積みを踏襲する事に些か躊躇^{ためら}いがあり、街計画は各賞受賞の経歴をもつ遠

藤剛生氏に協力を仰ぎました。

このエリアの特性について協議を重ねた結果、既存の街並みとは一線を画した街区とし、駅より右手にグランテラスのツートンスタイルをみて、リフレ地域は落ち着きある瀟洒な街区へ、歴史の重み深みの風景を多様にする街並づくりを進めることに決めました。9m通りを中心に、高低樹木を植え前庭を「森」に、各街区への道は「枝」と見立て、家々に外観も斬新に「葉」や「実」を想定した創りとなりました。益子陶芸家による、森の主フクロウの陶板を門扉に配し、月と太陽をモチーフにオブジェ彫刻を各戸に、浦安のテーパークの要素をちよっぴり

取り入れ、リフレ散策の楽しさや、住まう方の個性を植栽に引き出す街づくりとしています。街並みと皆様の丹精の努力が高く評価され、昨年グッドデザイン賞の受賞も目新しいことです。

街は創りましたが住まわれる方々が育てていくもの、50年たったから寿命がきましたという事にはならないのです。建物がだめになつたら建て替え、住む人がいなくなれば新住民に入れ替わり街はずっと生きていきます。大切なのは、街が成長し続けていける可能性を最初に種まきしてあるかということです。当社は地区計画・緑化規約を堅持頂き、住民同士のコミュニケーション促進を目的にイベントを起し、自治会の発足までお手伝いさせていただきました。30年間の皆様の努力で街は育ってきています。更には皆様一



人一人のお気持ち次第、街が未来永劫発展していくものと信じております。



特別寄稿第二回 白岡人物伝

特別寄稿 (第二回)

地域が誇る仏師・彫刻家

たちかわきんろく
立川金禄

白岡市文化財保護審議会委員 板垣 時夫

四国、金刀比羅宮の随神像や千葉県成田山新勝寺の狛犬、昭和31年に日本仏教協会がネパール国王に贈呈した文殊菩薩像は篠津出身の仏師・彫刻家、立川金禄の作です。

立川金禄(本名は福治)は、明治42年に立川初五郎の次男として生まれ、家業は社寺建築の装飾や山車の彫り物などを施す宮彫師でした。金禄の祖父音吉は篠津久伊豆神社の社殿彫刻や山車(いずれも市指定文化財)の彫刻を手掛けています。音吉の長男が初五郎で彼も父の後を継ぎ宮彫りを業としていました。金禄は父初五郎のもとで手伝いと仕事の習得に励みました。21歳の時「帝展」を見学、裸婦の

彫刻などに接して以来、宮彫の平面性に限界を感じ、23歳の頃に彫刻家高村高昇へ弟子入り、腕を磨きました。さらに、朝倉文男の「朝倉彫刻塾」にも参加して研鑽に励みまし

た。制作は、仏像、神像、狛犬、欄間彫刻、レリーフ、絵画、ブロンズ像など多彩、なかでも金禄といえば『軍鶏』といわれるように、日展24回入選のほとんどの作品が軍鶏でした。なぜ「軍鶏」なのかは本人にしか知らないことですが近親者によると、金禄はかなり気性も激しく、その辺が軍鶏の雄姿と呼応したの

可能、しかも戦時色が色濃くなる中で「軍鶏」の文字も性質も時代にあっていたと思われ



軍鶏

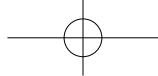
金禄は仏師の家に生まれ、素晴らしい腕を持つ祖父の素質を受け継ぎ、あくまでもおとなしい性格で高ぶることはなかったとも言われています。彼は「仏師は人の拝む像を作るのだから、常に心を清浄にしていなければならぬ」と久喜市大田袋の金刀比羅神社に40年間も月参り、また、自分の作品を拝むときは「たとえ私の作品でも開眼のすんだ仏像はもう私のものではない」と。作品はさいたま市大宮区の氷川神社の恵比寿・大黒像

や岩槻区の慈恩寺の格天井、長野御嶽山の八大龍王など著名な社寺にも数多く収められています。市内の代表的なものでは興善寺山門の四天王像・大黒天・涅槃像、安楽寺の不動三像・厨子、篠津小学校のブロンズ像「輝く未来」、篠津中学校に「飛躍」の像があります。ぜひ、ご覧ください。

金禄は昭和53年、70歳の時「紺綬褒章」、同59年には埼玉県「文化ともしび賞」を受賞しています。



金刀比羅宮随神像



新白岡つつじ公園 開園！

十二月十五日(土)

新白岡つつじ公園が開園しました

白岡ニュータウン1丁目と駒形地区にまたがる旧つつじ公園が装いも新たに開園、子供たちの手で除幕式が行われました。

旧つつじ公園の倍、面積1,740平方メートルで両地区の中間にあります。冬晴れの公園で、白岡市の小島市長と幼児たちが揃って除幕式に臨み、待ちに待った都市公園の開園を祝いました。

また、当自治会の創立30周年を記念して、総合地所より記念樹トピアリーの目録の寄贈もありました。総合地所のマスコットキャラクターの「アヒルネくん」のトピアリーも移植され、公園内には花壇も新設されました。このほど「花

と緑の会」による花々の植え付け作業も終わりました。生まれ変わった新白岡つつじ公園はみんなの広場です、大切に活用しましょう。



(トピアリー／常緑樹を刈り込み動物などをかたどる造形物、西洋庭園でよく見られる。)



編集後記

昨年度の広報部班長に引き続き今年度は役員を仰せつかり、「自治会だより新春号」では編集を担当することになりました。

昨年度まで悠友会の広報担当、「悠友会だより」を4年間作成してきまされたので、慣れた作業ではありますし、体を使う仕事は苦手ですが、パソコンでの仕事は好きなので楽しく編集作業を終えました。



広報部 吉川 彰

白岡ニュータウン自治会
自治会だより

2019年新春号

2019年2月1日発行

(年3回発行)

発行・白岡ニュータウン自治会

制作・広報部

